

## 第45回神経放射線ワークショップ

原田 太以佑

北海道大学大学院 医学研究院放射線科学分野 画像診断学教室

2025年8月4日論文受領、最終受理2025年8月5日

2025/7/3から7/5に熊本大学主催、熊本ホテルキャッスルで開催された神経放射線ワークショップ(NRWS)に参加しました。この会は神経放射線を専門にしている放射線診断医を中心として、珠玉の一例を持ち寄るクイズ形式の研究会です。私は医師6年目の頃からほぼ毎回参加している会で、2022年に北大主幹でNRWS@小樽を開催したのが、つい先日のです。

脳神経の疾患は稀なものが多く、画像所見も典型的なものから非典型的なものまで多彩です。北大も症例数が多い方だとは思いますが、1施設が携わる症例数には限界があり、日本に年数例も発症しないような病態に遭遇できる可能性も低ければ、それが正確に診断されるケースはさらに稀かもしれません。NRWSではこのような貴重な疾患を前向きに診断する機会が得られる貴重な研究会であり、各症例で所見の解釈や考え得る疾患、読影のポイントなどがディスカッションされ、その中に様々なドラマがあります。個人的に思うこの研究会のキモは、どのような過程を経て間違えたのか、をじっくり考えられるところだと思います。失敗から学ぶことは非常に多いです。参考までに私が真面目に回答しても正答率は4割が関の山であり、最優秀賞ですら6割を切る正答率です。また、NRWSの性質上、まるで合宿のように缶詰状態で知識を詰め込むつらさがある一方で、同じ領域を専門としている人たちが集まる貴重な機会でもあり、交流の場としても機能しています。北海道NR懇話会の講演演者もこの場で依頼をすることが多いです。

さて、今回のNRWSですが、北大からは専攻医の野口輝先生が、私が小児脳腫瘍キャンサーボードで対応した非常に珍しい脳腫瘍について出題および解説を担当して頂き、立派に

発表をしていました(指導医の私の出番はほとんどありませんでした)。私は今回のNRWSは見守るだけ、と思いきや、神戸大学出題の回答者とディスカッサーという用務を与えられました。回答の方は2択まで絞るところまでは合っていましたが、最後の選択で誤って残念ながら外しました。ちなみに、私はほぼ毎回回答者に当たっていますが、正答したの2回だけです(2択になると毎回外します)。ディスカッサーは担当セクションの各症例について自由にコメントをするというもので、出題者、回答者、座長に加えて新設されました。今回のNRWSではベテランと若手～中堅の交流というのを一つのテーマとしており、ディスカッサーもベテランと若手中堅のペアで選出しているようで、私は若手中堅枠(~2008年卒)であり、もう一方は琉球大学の與儀彰先生でした。大舞台で画像コメンテーターをしたのは実は初めてでしたが、與儀先生に助けられつつ、楽しく終えることができました。(私が若手中堅に該当するのかはさておきとして)こういう若手中堅を持ち上げてくれる土壌というのは素晴らしいと思います。

この記事を読んでNRWSに参加してみようと思った方は、ぜひ現地参加をおすすめします。全国の専門家を前に、たとえ間違えても、その思考プロセスを深く議論できる経験は、日々の臨床では得難い宝物になります。神経放射線に興味を持つ学生や若い先生方には、この熱気をぜひ現地で体感してほしいと心から思います。

最後に、宮坂アワードのご支援により、専攻医の野口先生とともに貴重な経験を得ることができました。このような貴重な機会を提供して下さったMIL関係者および読影医の皆様には厚く御礼申し上げます。

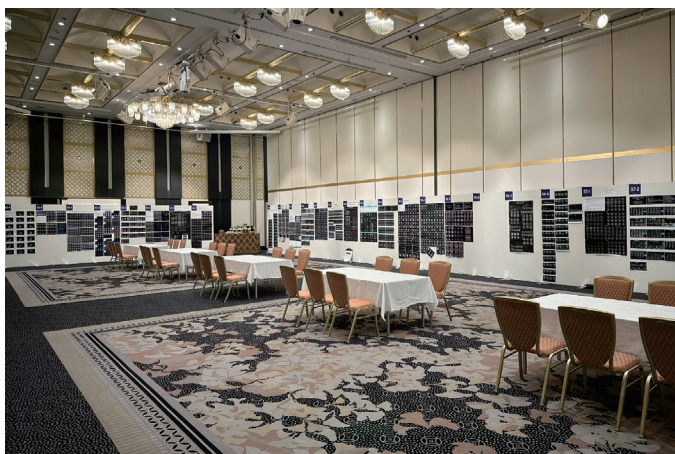


図1 ポスター会場

最近の学会では珍しい、紙ポスター形式で症例を閲覧します。ポスターの前で有名な先生がディスカッションしているのを見たり聞いたりできるのは、この会の醍醐味の一つです。なお、現在はハイブリッドのためwebでも症例を閲覧できるようになっています。



図2 回答中の様子

3分の持ち時間で画像所見、鑑別疾患、一推しの疾患を述べ、それから会場を含めたディスカッション、コメンテーター（回答者席の右隣）、解答解説と続きます。1症例10分の中にすごい情報が飛び交います。（登壇直前に知り合いの先生よりくまモンを託されたので、一緒に登壇しました。）



図3 講演の様子(藤間憲幸先生)

神経放射線ワークショップでは北大のNeuroチームは大活躍です。工藤先生と藤間先生はセミナー講演、函館中央病院の高橋千尋先生は症例検討の座長、私はコメンテーターと回答者、野口輝先生が出題と解説をそれぞれ担当しました。



図4 懇親会、ご来賓の紹介

神経放射線ワークショップは周囲に何も無いような会場/土地で開催されることが多く、参加者の大多数が懇親会に集結します。写真のような有名な方もいらしますが、それ以上に有名な先生方や他の施設の先生方と気軽に話せる貴重な機会です。懇親会終了後にポスター会場に移動してディスカッションをするというのも、この会ならではのです。